## (2) 授業モデルの活用

表2 小学校5年生の一年間を通した「授業モデル」(教育出版「ひろがる言葉」小学国語5下)

夜4	<u> </u>	生の一年间を通した 投業モナ	か」(教育山脈 ひつかる日来	1707于国阳 2 17)
		1 学期	2学期	3 学期
過	思考力の	「まんがの方法」	「森を育てる炭作り」	「日本語を考える」
程	要素	(問題提起文あり)	(問題提起文なし)	(問題提起文、小見出しあり)
			指 導 の 工 :	夫
つ	[A]			
か	言語情報	題名から内容を予想し、そ	題名にかかわる疑問に	題名から内容を予想し問
む	への主体	る の予想と問題提起文に着目	着目して初読する。	題提起文、小見出しに着く
	的な働き	くして初読する。	筆者の意見をまとめて	目して初読する。
	かけ		いる段落を見付け、そ	筆者の意見をまとめている
		段落を見付け、その段落の	の段落の中心となる文	る段落を見付け、中心と
		・ 中心となる語句と問題提起	と語句から「読みの課	なる語句と問題提起文か
		〉 文から「読みの課題」をつ	題」をつかむ。	ら「読みの課題」をつか
		~ かむ。		む。 }
		<読みの課題>	 <読みの課題>	
		「まんがのおもしろさを生	「自然からのめぐみとは	「これまでに気付いていな
		み出す「まんがの方法」	どんなことか」「人間の	かった日本語の特ちょうと
		= 'まんがに特有の表	ほうから自然にはたら	はどんなことか」「日本語
		現方法」とはどんなもの	きかけるとはどんなこ	の特ちょうを生み出し、受
		מי מ	とか」「自然とともに生	けついできた日本人のも
			きるとはどんなことか」	のの見方・感じ方とはどん
				なことか」
深	(B)			
め	言語情報	「読みの課題」に沿って、	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜	小見出しごとに「読み
る	の正確な	おもしろさを生み出すま	や答えにつながる記述	の課題」の答えや答えに
	把握	んがの方法」=「まんが	を取り出す。	つながる記述を取り出
	(C)	に特有の表現方法」を表	で取り出した記述を	す。
	言語情報	す「コマ」「背景」など	グループに分け、グル	~。   で取り出した記述を活⊱
	と生活体	の語句を取り出す。	ープ名を付けることで	用し、小見出しに沿っく
	験との関	表現方法ごとに本文と資		て日本語の特徴と受け
	連付け	料を関連させて読み、各	る。	つできた日本人のもの
	(D)	「まんがに特有の表現	。 のそれぞれの学習	見方・感じ方」を二文
	既有の知	D	で気が付いたことや考え	程度にまとめる。
	識や体験	る上で中心となる文を取	たことを書いておく。	のそれぞれの学習で
	に基づく	>	筆者の意見である「自	気付いたことや考えたこ
	言語情報	で取り出した中心とな	然とともに生きる」と	とを書いておく。
	の評価	る文を活用し、表現方法	はどんなことかを、自	筆者が述べる日本語の特⟩
		の特徴を二文程度にまと	分たちの生活体験と関連	世間のは、30日中間の付入
		る。 のでは、 のる。	付けながらまとめる。	・感じ方をまとめる。
		~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	111767 26 20 20	
ま	(E)			
٤	新たな思	自分が一番おもしろいと	√ 読み取った筆者の考え	 生活体験や学習経験の中
め	考の生み	思う「まんがの方法」を	方を基に「人間と自然	で気付いた日本語の特徴
る	出しと言	本文や持ち寄ったまんが	とのかかわり」につい	と日本人のものの見方・
	語化	を活用して文と資料(実	ての自分の考えをまと	感じ方についてまとめ
	HAID	る を	める。	<b>あ</b> の方に りいて なこめ
			\\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.	h
	<u> </u>			